

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
国語	論理国語	文系2、理系1	一斉	共通	3

教科書（発行所）	精選論理国語（東京書籍）
教科書以外の教材	1 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 2 共通テスト+センター試験 国語過去問題（尚文出版）

目 標	1 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。 2 身近にある問題や社会の課題について自ら問いをたてて考える力を育成する。		
学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期 ・読む【記号】「言語と記号」 ・読む【時間】「鏡の中の現代社会」 ・読む【情報】「おじいさんのランプ」 ・読む【共同体】「社会の壊れるとき」 ・書く【探究】「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」	・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者と自己の考え方を比較する。 ・さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。 ・話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 ・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 ・文章を的確に読み取り、資料を集めて検証し、自分の意見をまとめる。	課題考查 中間考查 期末考查
	2 学期 ・読む【倫理】「抗争する人間」 ・読む【歴史】「原始社会像の真実」 ・共通テスト過去問題 R3年 第一日程・第二日程・第三日程 R4年 本試験・追試験 R5年 本試験・追試験 R6年 本試験・追試験	・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。 ・時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。 ・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し選ぶ力を身につける。	課題考查 中間考查 卒業考查
	3 学期 ・共通テスト過去問題 R7年 本試験・追試験 R8年 本試験・追試験 進学希望者がいる国公立大学、私立大学、各種専門学校等の過去問題演習と解説。	・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し選ぶ力を身につける。	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 提出物・宿題の期限を必ず守る。 2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 3 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 4 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	定期考查・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		